

学校名 三郷市立幸房小学校
所在地 埼玉県三郷市茂田井88
電話 048-952-0211

1 本校の概要

本校は、昭和49年に開校し、児童数増加により平成29年に校舎を増築した。現在、児童数651名、23学級の学校である。学校図書館は、メディアルームも併設され、調べ学習がすぐできる。読書の楽しさを知り豊かな心を育むため、様々な読書活動を展開している。教職員、保護者、図書ボランティア、学校図書館司書が連携しながら読書活動を推進している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組
- ・司書教諭・学校司書などを活用した取組
- ・家庭や地域との連携
- ・学校図書館等の環境整備の工夫
- ・特色のある読書活動の取組

(2) 実践の概要

ア 読書に親しむ態度や読書習慣に係る取組

○読書タイム

毎週金曜日の朝15分間、全校一斉読書とし、自由読書や担任による読み聞かせを行っている。年2～3回「おはなしのブーケ」による各学級での読み聞かせも行っている。

イ 司書教諭・学校司書などを活用した取組

○ブックトーク



国語で学習した物語の発展学習として、学校司書によるブックトークを取り入れている。

ウ 家庭や地域との連携

○家読、家読ゆうびんコンクール

毎月23日は「家読の日」と設定。ノーテレビ、ノーゲーム、親子で20分間読書をする。一緒に読んだり、読み聞かせを



たり、感想を話したりと親子が触れ合い、感想はカードに記入している。家読ゆうびんコンクールは、子どもが親に本の感想を葉書に書いて渡し、親は受け取ったら、紹介された本を読み、返事を書いてい

る。児童・保護者共に毎年多数「全国家読ゆうびんコンクール」に入賞している。

○おはなしのブーケ

保護者、OGからなる読み聞かせボランティア。金曜朝の読み聞かせに加え、年5回、火曜の昼に図書館での大型絵本やパネルシアター、素話をする。毎回図書館が一杯になる程、大盛況である。



エ 学校図書館等の環境整備の工夫

中央の柱は季節、イベントによって変え、目を惹き、足を運びたくなる様な工夫をしている。ホストタウンであるギリシャのコーナーや読書月間には全校児童、教職員分の「おすすめの本カード」を掲示している。



オ 特色のある読書活動の取組

○縦割り読書

本校の特色である縦割り班活動では遊びや読書をしている。縦割り班の6年生が1年生に、5年生が3年生に、4年生が2年生に読み聞かせをする。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・読書タイム、家読の日が定着し、児童が進んで読書に取り組めた。4年生以上では、縦割り読書で読み聞かせる本を担当や司書に相談し選書したため、学年に合った選書ができた。
- ・司書が専門性を生かして授業に関わることで児童たちの読書への関心意欲は高まった。
- ・図書館を使った調べる学習コンクールでは文部科学大臣賞入賞、統計グラフコンクールでは県知事賞をもらうことができた。

(2) 課題

読書習慣はかなり定着してきているが、自分の好きな本に偏りがある。「三郷おすすめの本」を中心に幅広い読書を進めていく必要がある。

(3) おわりに

特色ある読書活動を行っているので、読書の楽しみを味わわせ読書力を高めていきたい。